

校章・校歌の由来

校 章

昭和24年5月2日 制定

原 作 案 成 者	小 花 総 一 氏 昭和22年4月～27年2月 本校教諭 昭和37年4月～42年3月 本校第3代校長 ※ 葛西中・松江二中・(小岩三中)・松江五中の校長を歴任。
制 定 経 緯	昭和22年、小岩三中開校の年に、「校章は、三中の創立と同時に決めるべきである」という声が学校内外から起こり、教職員・生徒から広く図案を公募した。応募総数10点の中から、全教職員で検討を重ねた結果、小花総一教諭(当時本校校務主任)のデザインが採択された。
由 来	まず、①「小岩」の地名 ②ナンバースクール「三中」 ③優しい漢字の意匠 の3点を考慮しながら、当時の大学の帽章を模して表現した。 校名「三中」を中央にして、「小岩」の文字を左右に配置して制作したが、小岩の文字は、右から左に書いてある。このようにすることで字の下方が内側を向き、全体のバランスが良くなるとともに、可愛らしさも加わるということでデザインされたものである。

校 歌

昭和25年3月3日 制定

同16日 発表会

作 詞 者 ・ 作 曲 者	作詞者 北 見 志保子 (きたみ しほこ) 氏 明治18年 高知県出身。本名は、浜(川島)朝野。ペンネームは、山川朱美。 中国派遣教員養成所卒。「水光」「花のかげ」「珊瑚」などの歌集があり、心理詠に特色がある。平井氏とのコンビでは、「平城山(ならやま)」が有名である。 作曲者 平 井 保 喜 (ひらい やすき) 氏 明治43年 高知県出身。のち康三郎と改名。東京音楽学校(現 東京芸術大学)卒。 文部省教科書編纂委員、合唱連盟理事、日本音楽著作権協会理事、大阪音楽大学教授等を歴任。代表曲「スキー」「ひなまつり」「とんぼのめがね」「お江戸日本橋」他多数。
制 定 経 緯	小松一繁初代校長・下田民夫教諭を軸に、校歌制定委員会を組織する。当初は一般公募にする予定であったが、下田教諭の知人が北見氏を紹介してくれたことから、作詞は北見氏に決定。作曲は北見氏が当時コンビを組んでいた平井氏を強く推薦し、決定した。発表会は、両氏とともに当時有名な歌手であった吉田のり子氏を招いて盛大に行われた。
歌 作 詞 曲	「公德・礼讓・明朗」の歌詞は、学校側から北見氏に必ず入れてほしいと依頼した。全体を通し、過去・現在・未来を歌い上げる格調高い歌詞となっている。曲は自然なメロディーとリズムに変化があることが特長である。気品をもって楽しく歌えるよう配慮した。